



地球ヤンゴン号



今月の話題

日本の入学式と言えば、桜花満開の時期ですね。ミャンマーでもシャン州など北の高原地帯では梅・桜・桃の花がこの時期に楽しめるとのこと。以前はテインジャンの頃に雨が降り、ミャンマーの国花とも言える黄色のパダウ(ビルマカリン)の花が咲き、女性が好んで髪に挿したそうです。地球温暖化のせいでしょうか。昨年も開花は5月になってしまいました。

ただ、ミャンマーの七不思議の一つ、乾季(12月から3月)までほとんど雨が降らないのに、草木は枯れることなく、アメリカンネム(ココ)・ゴールデンシャワー(ムーア)・火炎樹(セインパン)等の大木が花を咲かせていきます。そして、水分たっぷりのジャックフルーツ(パラミツ)・マンゴーなどのフルーツが枝もたわわにどんどん大きくなっていきます。

さて、学校のパダウは、いつ美しい黄色の花を咲かせるでしょうか。第一発見者は、今年は誰かな？

< 4月の予定 >

4 / 23 (火) 着任式・始業式・入学式
 24 (水) 身体測定・小2年生以上弁当開始
 26 (金) 避難訓練(暴徒対応)
 30 (火) 小一年生弁当開始・委員会活動

< 新しい先生の紹介(出身・特技・趣味) >

○松野哲生(まつのてつお) 教諭・小5担・茨城県
 ・JFT公認指導員C級コーチ・音楽鑑賞・サッカー
 ○本村嘉子(もとむらひろこ) 講師・小2担・大阪市
 ・ピアノ・ギター・ダンス(エアロビクスなど)

< ボランティア先生の紹介(指導教科) >

○安田靖子(やすたやすこ) →小5・6年複式家庭科
 ○宮林えりか(みやばやし) →小3・4年複式音楽科
 ○置田起美(おきたきよみ) →中3年技術家庭科

<今年度の学校経営の方針と喫緊の課題>

- ・学力→自分で気づき、自分で考え、仲間と練り合い、自分で解決していく力の育成
- ・コミュニケーション力→日本語・英語・ミャンマー語で積極的に「話す力」の育成
- ・基本的生活力→自立が遅れがちになる当地の環境に鑑みて、「七つの名人」の育成
- ・体力→健康づくりは心づくりという発想で意図的継続的に自己健康管理能力の育成

日本の学校と同等の学力をつけるとともに、ミャンマーという地の利を生かして、将来、自国や国際社会に貢献していける人材育成を目指します。今年度もよろしくお祈りします。

さて、本校は、幼稚部を入れて、一学期中にも100名を突破していく勢いです。校舎増築は喫緊の課題です。昨年度は、34名の増員もあり、学校だけで新校舎増築のために67,000ドルを積立することができました。今後200人規模の学校に対応するためには、校舎新築が必要になってきます。日本円で一億円ほどの建設費がかかると試算しています。また、ご意見をお願いします。

豆知識 おひつじ座

おひつじ座は、悪い継母に殺されそうになった兄と妹を助けに、神々の王ゼウスがつかわした黄金の牡羊です。兄妹の危機に駆けつけ、二人を背に乗せて飛んで逃げました。途中、妹は海に落ちてしまいましたが、兄を逃がした功績を認められ、おひつじ座になりました。

